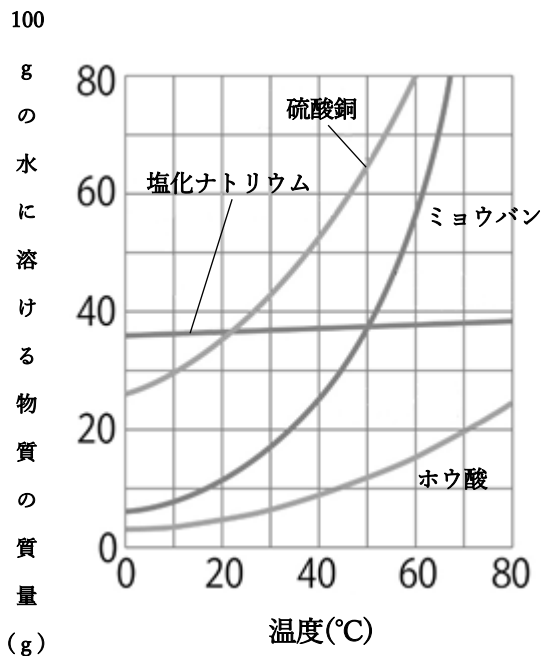




## ◎水溶液の濃度

一定量(ふつう 100g)の水に溶ける物質の最大量を **溶解度** という。物質の種類によって決まっており、**温度** によって変化する。物質が溶解度まで溶けている水溶液を **飽和水溶液** という。



いろいろな物質の **溶解度曲線**

① 60°Cの湯 100g を 2つ用意し、ミョウバンとホウ酸を溶かす。ミョウバンは約 **58** g 溶かせる。ホウ酸は約 **15** g 溶かせる。

② 湯を 20°Cまで下げると、それぞれ **結晶** (規則正しい形の固体)が現れた。ミョウバンは約 **47** g、ホウ酸は約 **10** g 現れた。

③ ホウ酸の方が現れた結晶は少なかったが、表を見ると、一番現れにくいのは **塩化ナトリウム** である。こういった、**温度によって溶解度があまり変化しない** 物質を取り出すときは、**水を蒸発させる** 方法をとる。

このように、一度溶かした物質を、再び結晶として取り出すことを **再結晶** という。

## ◎質量パーセント濃度

水溶液にふくまれている溶質の質量の割合。

$$\text{質量パーセント濃度}[\%] = \frac{\text{溶質の質量}[\text{g}]}{\text{水溶液の溶質}[\text{g}]} \times 100 = \frac{\text{溶質の質量}[\text{g}]}{\text{溶媒の質量}[\text{g}] + \text{溶質の質量}[\text{g}]} \times 100$$

① 食塩 20 g を溶かしてつくった 100 g の食塩水の質量パーセント濃度 **20** %

② 質量パーセント濃度が 15%の食塩水 120 g にふくまれる食塩 **18** g

③ 濃度が 10%の食塩水 250 g に水を加えて濃度が 8%の食塩水を作った。このときに加えた水の質量は何 g か。 **62.5** g